



鈴木 正彦



教員の働き方改革と学校における協働・出前授業について

Q 日の出町働き方改革推進プランを見直す必要があるか。

A 超過勤務時間の削減寄与等の成果もある中、今後も総合的に学校の働き方改革を学校と共に進めて行く。

Q 出前授業を一元に把握、管理されているか。

A 外部機関との連携・協働による学習活動については実施計画書の提出などは求めておらず、学校側負担増の懸念もあるため具体的な対応はしていない。

Q 産官学及び公民連携の意義をどのように前進させて行くか。

A 自己完結型の学校づくりだけでなく、家庭や地域等との連携協働型の学校づくりを進めることが重要であると認識。連携協働型の学校づくりに関する情報発信を進め「共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教

育」の具現化に向けた取組を推進していく。
災害、被災時における町の対応について

Q エコノミー症候群及び感染症対策ガイドラインは。

A ガイドラインはないが「日の出町災害時 保健活動マニュアル」があり、毎年見直されている中、今後も研究していく。

Q 地上インフラが損壊しても衛星通信を利用することで情報伝達を維持できる「スターリンク」を導入、利用することが有効と思うが町の見解は。

A 活用方法や機器等追加への可能性、またそのほかの通信手段はないのかどうかを含めて、研究・検討していく。



「ものづくり」を学ぶ
プラモデル授業



木住野 智行



梅ヶ谷トンネルについて

Q 開通後のつるつる温泉センターの入場者数や売上げの変化は。

A 前年同期間と比較すると約13%上昇している。

Q 開通したことにより、町や地元に有益となったことは。

A 災害時の迂回ルートができたことが大きい。日常生活では地域に暮らす住民の利便性は向上したと思われる。

油田町民農園について

Q 農園利用者用の駐車場の設置について。

A 全ての区画数に見合った駐車場を確保することは困難である。

町内の残土、盛土の状況について

Q 玉の内地区の第2〜4工区の盛土現場で、前回定例会後の現場の状況の変化と、各工区の今後の問題解決に向けた方針や計画について。

A 特に大きな変化はない。第2・3工区は、変更許可申

請に必要な具体的な造成計画図等が完了していないことを多摩環境事務所から聞いている。

Q 長井地区の太陽光発電施設の現場で、前回定例会後の現場の状況変化と、現場脇の水路開渠の進捗状況は。

A 特に大きな変化はない。水路開渠及び隣接民有山林内の土砂の撤去について、設計業者と考え方のすり合わせを行い、改めて協議を行うことになっている。



豪雨の影響により崩落した盛土現場(玉の内地区)